

水道管凍結防止の対策について

1月から2月にかけて気温が氷点下になる日が増えてきました。
水道管の凍結には注意が必要です。

1. 外気温が氷点下になると、水道管や蛇口が凍り、破損することがあります。

次のような場所は特に注意が必要です。

- ・「むき出し」になっている水道管
- ・北向きで、日の当たらない水道管
- ・風が強く当たる水道管

2. 凍結を防ぐには？

- ・水道管や蛇口に布切れや毛布、又は保温材を巻き、濡れないよう保護して下さい。

※保温材はホームセンター等で販売しています。

- ・夜間、蛇口を少し開いておく。

※水が常に動いていることで、凍結防止になります。

3. 水道管が凍結したときは？

- ・凍ってしまった部分に、タオルや布をかぶせて、その上からまんべんなく「ぬるま湯」をかけてください。

※熱湯を急にかけて水道管が破損する場合があります。

4. 水道管が破裂したときは？

- ・上水道を使用されている世帯で、水道管が破裂した場合は、メーターボックス内の止水栓を止め、最寄りの指定給水工事業業者へ修理を、お申し込みください。

水道管の破損による漏水が同時に多発した場合、断水になるおそれがあります。

漏水の早期発見が断水回避につながりますので、各家庭の水道メーターの位置を再確認してくださいようお願いします。

(水道メーターの上に積雪がある場合は、除雪をお願いします。)